

【もっと楽しく子育てしよう!】

# 平島 美紀江

Hirasima miki

百九十万人が住む街へと成長した札幌。  
先人が築いた礎の上、皆それぞれに輝きを放ちながら、  
この街で暮らしています。  
この連載では、そんな百九十万人の一人に焦点を当て、  
その輝きの源に迫ります。



くると表情を変えながら、  
笑い、泣き、走る。全身からあふ  
れるパワーに、周囲が自然と巻  
き込まれてしまう。

そんな魅力的な女性、平島美  
紀江さんは、北海道子連れプロ  
ジェクトの代表。「子育てを楽し  
くできる環境をつくらう!」と、  
日々奔走する。

平島さんは二十三歳で結婚。  
観光情報誌の営業をしていたが、  
妊娠を機に退職し、二十九歳で  
出産した。「子供と一緒にいろん  
な所へ出掛ける、すごく楽しい  
生活を思い描いていたんです」。  
しかし、現実はず違った。今まで  
通っていたお店は、子供が気にな  
って入れない。仕事も自分のペ  
ースでできない。子供の成長に  
も神経質になり、悩む日々。「子  
育てがこんなに辛いなんて」。途  
方に暮れながらも、この状況を  
何とかしたいと思った。

やると決めたらのめりこむ性  
格。まずは子育てを通じて学ん  
だ食の大切さを伝えようと、前  
職を生かして、食育などの情報  
が満載のフリーペーパー「のこた  
べ」を発行した。さらに、子供を

隣で遊ばせたり預けたりして、  
「毎日頑張ってるお母さんに自  
分の時間をプレゼント」する子  
育てサロンも、円山動物園を会  
場を実現した。

すべてが順調のように見える  
が、何度も挫折しかけたという  
告知が不十分で、子育てサロン  
にお客さんがほとんど来なかつ  
たことも。

ひどく落ち込んでいた時、参  
加者の一人から「あんなのやっ  
てるとは素晴らしいことだから  
頑張つて続けなよ!」と激励さ  
れ、号泣した。その後も落ち込  
むことがある度に、周囲の励ま  
しに助けられてきた。

今では、心から子育てを楽し  
んでいる平島さん。目標は、「み  
んなで子育てをする」地域のつ  
ながりづくりだ。「二人暮らしの  
お年寄りも、子供と二人きりで  
家にお母さんも、みんな一緒  
にご飯を食べたら楽しいと思っ  
た」。そんなレストランをつくりた  
い」と目を輝かせる。

地域の人々が集うレストラン  
で、はちきれんばかりの笑顔の  
平島さんが目に浮かんだ。

## 平島 美紀江

平成17年に立ち上げた北海道子  
連れプロジェクトの代表。フリーペ  
ーパー「のこたべ」の発行のほか、  
円山動物園を会場とした放課後自  
然体験「ここいく」や女性の再就  
職を支援するセミナーなどを企画す  
る。自身も8歳の男の子の母親。  
のこたべは、区役所や子育てサロン、  
円山動物園などで配布中。



## 子育てサロンin円山ZOO

子供が遊んでいる間に、マッサージやアロマ体験ができます(メ  
ニューは月替わり)。遊具コーナーなどは無料。有料託児もあり。  
※「ここいく」の参加者も募集中。詳細はお問い合わせ

■日時/第4木曜午前10時~午後3時 ■会場/円山動物園(中央区宮ヶ丘3) ■費用/有料メニューあり。  
入園料が必要 ■詳細/のこたべ☎676-4222 ■ホームページ/www.hkp.jp/events/kosodatesalon.php